



Vol. 8 世界唯一のモルト... オーナーズカスクオーナーとなるために

バー＆ラウンジにて開催している“25周年記念 オーナーズカスク 山崎 1999 フェア”。この開催に向け、カスクオーナーとなるために「山崎蒸留所」へ…今回はオーナーへの道のりを一挙ご紹介！



愛飲家の皆様に!! 山崎蒸留所の旅ブログ PART.2

檻で囲われたカスクルーム

様々な工程を経て、できた蒸留酒が寝かされる貯蔵庫へ。その中でもオーナーズカスクは、施錠がかかる檻で囲われた特別な場所に保管されていました。厳肅な雰囲気はもちろん、重厚感があり、希少価値の高さを見ただけでも感じられます。



→ 一般の蒸留酒とは別に、隔離されています。

見学を経て到着した“カスクルーム”はとて厳肅な雰囲気



社会科見学みたいでした



まずは、蒸留所見学から!!

部屋までの通路には、サントリーさんがこれまで創ってこられた様々な企業さんのオリジナルボトルライブラリーが…。

* 出発地点 *



これが商談ルームです。

サントリー福士さんと見学ツアー。

さて、蒸留所内見学。この蒸留所内でウイスキーができるまでの工程を、サントリー福士さんに色々教えていただきながら、見て回ります。これが、結構、勉強になるんです。そして、段々とウイスキーの素晴らしさを実感していけるのもこのツアーの魅力です。

ボトルライブラリー
縦置電話・洋書
アコーデオンetc



見学後、商談ルームへ

素晴らしい竹林のお出迎え!!

最初にご案内されたのは、商談ルーム。やはり、カスクオーナーを迎えるべく、重厚感漂うとともお洒落な空間です。でも、何より素晴らしかったのは、グリーンな竹林。全面窓ガラス越しに手入れの行き届いた竹林の WELCOME!! かなり感動しました。

→ 実際には商談に使用したお部屋です。



左は、樽の中の蒸留酒の様子がシュミレーションされたもの。熟成期間が長くなるほどに、樽の中の蒸留酒が酸化して少なくなるそうです。ちなみに、その減った分量を「天使の分け前」というそうです。

市場で販売される「山崎」の樽詰め風景に出会う



偶然? 必然? の幸運です。

偶然にも、市販の「山崎 18 年」が樽詰めされている時間に見学することができました。これが 18 年間寝かされた蒸留酒が、動きだした瞬間です。そう考えるとテンションが↑。

* Tasting List *

- ★ 1999 年 No. DS70365 バーレル
- 1998 年 No. CO60138 バーレル
- 1996 年 No. AW70029 バーレル
- 1996 年 No. AW70054 バーレル
- 1995 年 No. 5R70317 ホックスヘッド
- 1995 年 No. 5R70320 ホックスヘッド
- 1994 年 No. 4M70076 バーレル

つぎは、いよいよ Tasting

これぞオーナーの証

オーナーとなる樽の鏡板にサインを…これぞオーナーの証です。(樽の上下の鏡板それぞれにサイン)私達が保有する、この世にひとつしかないウイスキーがこの日誕生しました。

カスクのオーナーとなるために、再びカスクルームへ GO



Owner's Cask 決定契約へ

苦悩に苦悩を重ね…

7種類のカスクの説明を受け、いざ試飲。最初は全種類そのままの香り、口に含んだ際の余韻など、カスク自体の特徴を確認し。水割りでも…何度も何度も繰り返し確認していきます。



↑どんな味であればお客様に喜んでもらえるか、苦悩した二人

ズラリと並んだテイस्टングのカスクグラス。

感激

無心にサインをするふたり。愛飲家には夢のような瞬間だったようです。



← ホテル名とオーナー名がしっかりと

山崎蒸留所滞在は約 5 時間 サントリー福士さん、増本さんお世話になりました。



Owner's 認定証の発行

後日事務局より届きます



選定 & 契約手続き全て終了

Owner's Cask 山崎 1999 到着



樽からボトル詰めされた商品はオリジナルラベルで、化粧箱に入っています。この中には、このカスクの特徴が明記されたカードも入っています。ギフトとしても十分に活用できる優れたもの。是非お試しください。